



目次

B-CONTROL ファームウェア-v1.06 - 新しい機能の基本説明	2
ファームウェア-v1.06 のアップデート法	3
新しい機能の詳しい説明	4
BCF2000 のみ	
BCF2000 ファームウェア-v1.06 - 新しい機能の詳しい説明	5
BCF2000 用のエミュレーション・テンプレート	8
BCF2000 用のバーチャル・ディスプレイ	12

B-CONTROLファームウェアv1.06 - 新しい機能の基本説明

バージョン 1.06 の新しい機能：

- パラメーターを使った後そのまま保存可能となりました。
- ループ・バックを防ぐためにデッド・タイムの設定が可能となりました。

BCF2000 上のみ新しい機能：

- 次に表示されているハードウェアをパソコンのディスプレイ上にてエミュレーションが可能となりました。
 - ⇒ Logic* Control
 - ⇒ Mackie®* Control
 - ⇒ Mackie®* Baby HUI™
- Windows®*使用のパソコン上でバーチャル・ディスプレイを使用し Mackie®/Logic*のディスプレイをシミュレートします。

ファームウェア-v1.06 のアップデート法

WINDOWS®(バージョン 98SE か 98SE 以上)

1. ベリンガーのウェブサイトにて (www.behringer.com) Update_Utility のファイルをダウンロードして下さい。



2. Update_Utility 内の「Firmware_Update_Utility_Readme_JP.pdf」にて説明に従ってファームウェア-v1.06 にアップデートを行って下さい。

MAC®

1. B-CONTROL ハードウェアをコンピューターに繋いでください。MIDI ダンプ・プログラムを開いて下さい。
2. MIDI ダンプ・プログラムを使用してファームウェア-v1.06 にアップデートを行って下さい。

新しい機能の詳しい説明

BCF2000 & BCR2000

パラメーターを使った後そのまま保存可能となりました。

頭記：

この機能を使えば、一時的に電源を切ったとしても、保存を行った場合はその時点の設定に戻れます。

説明：

1. 保存したい B-CONTROL ハードウェア上の設定が決まった時点で、「STORE」ボタンを押して下さい。
2. この時点で「STORE」ボタンの LED は点灯します。
3. 「STORE」ボタンをもう一度押して下さい。
4. 「STORE」ボタンの LED が消えますので、この時点で保存が終了します。

注意点：

各プリセットでの設定を、他のプリセットに変える前に、保存を行って下さい。プリセットを保存無しで変えますと、その時点で過去に最後に保存されたプリセットに戻ります。

ループ・バックを防ぐためにデッド・タイムの設定が可能となりました。

頭記：

ミュージック・ソフトによって MIDI ループ・バックが起こる事があります（例：Ableton®Live にて）。MIDI ループ・バックが起きると、フェーダーを動かすのが困難になる事があります。GLOBAL EDIT モードにて、バージョン 1.06 に新しい DEAD TIME パラメーターが加わりました。この DEAD TIME パラメーターを使って MIDI レイテンシーの設定が可能となりました。

説明：

1. GLOBAL EDIT モードに設定して下さい。（「EDIT」と「STORE」ボタンを同時に押して下さい）
2. プッシュ・エンコーダー7を回して、MIDI レイテンシーを設定して下さい。
3. 「EXIT」ボタンを押して GLOBAL EDIT モードから出て下さい。

注意点：

MIDI レイテンシーの設定範囲は 0 から 1000ms(ミリ秒)です。デフォルトとしては 100ms に設定されています。

BCF2000 ファームウェア-v1.06 - 新しい機能の詳しい説明

BCF2000 上のみ新しい機能：

- 次に表示されているハードウェアをパソコンのディスプレイ上にてエミュレーションが可能となりました。
 - ⇒ Logic* Control
 - ⇒ Mackie®* Control
 - ⇒ Mackie®* Baby HUI™

頭記：

今までのファームウェアにて B-CONTROL モードは[bC]モードのみでしたが、v1.06 にて四つの新しいエミュレーション・モードが含まれています：

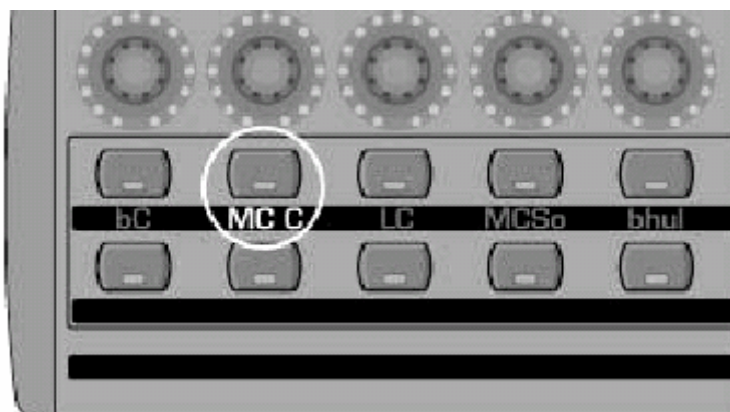
- ⇒ [MC C] Steinberg®* Cubase* SX と Nuendo*にて Mackie® Control のマッピングのエミュレーション・モード
- ⇒ [LC] Emagic® Logic Audio*にて Logic* Control のマッピングのエミュレーション・モード
- ⇒ [MCS0] Cakewalk®* Sonar*3 にて Mackie® Control のマッピングのエミュレーション・モード
- ⇒ [bhul] 様々なミュージック・ソフトにてMackie® Baby HUI™のマッピングのエミュレーション・モード。(例：Digidesign®* Pro Tools*, Steinberg®* Cubase SX/Nuendo* - このモードはMackie® Controlのプロトコルに比較すると使用が簡単です)

下に表示されているテンプレートにて、どのパラメーターが BCF2000 上のどのポットやフェーダーで作動するかが分かります。

注意点：

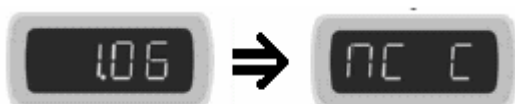
- BABY HUI™のエミュレーションは完全です。
- Mackie®と Logic*-Control のエミュレーションは主に使うパラメーターやオプションが含まれています。

説明：



[例：Cubase*用の Mackie® Control MC C]

1. 設定したいエミュレーション・モードのボタンを押し続けて下さい。(上にエミュレーション・モードを設定するボタンが表示されています。)
2. 電源を入れて、ディスプレイにてエミュレーション・モードが表示されるまで待って下さい。



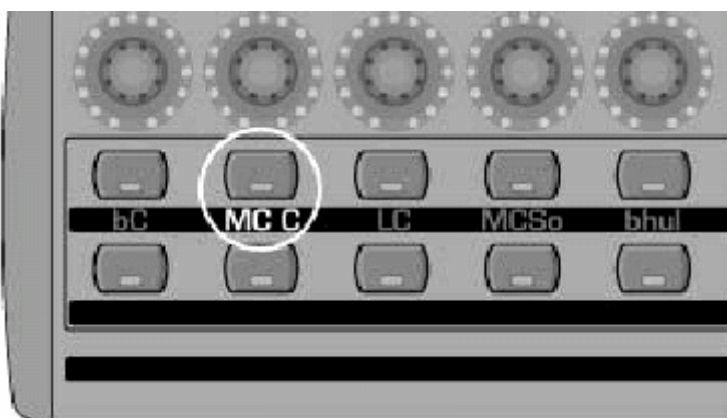
3. エミュレーション・モードのボタンを押し続けるのを止めて下さい。



注意点：

- BCF2000 の電源を入れた時、消した時点のエミュレーション・モードに設定されています。
- エミュレーション・モードの切り替えは、上に表示去れている「説明」にしたがって、行って下さい。
- 各エミュレーション・モードにてパラメーターがどのポットやフェーダーで作動するかの設定は、変えられません。プリセットやグローバル・エディットでの選択も含めて、変えられません。パラメーターの設定はハードウェアのエミュレーションにそって設定されています。
- 各エミュレーション・モードのパラメーターの設定の詳しい説明はエミュレーション・テンプレートにて確認して下さい。
- エミュレーションの元となっているハードウェア・コントローラーやミュージック・ソフトの詳しい設定は製造元のインターネット・ホームページにて確認して下さい。
- GLOBAL MENU パラメーターの設定をエミュレーション・モードを選択する前に変える詳しい説明：

1. 設定したいエミュレーション・モードのボタンを押し続けて下さい。

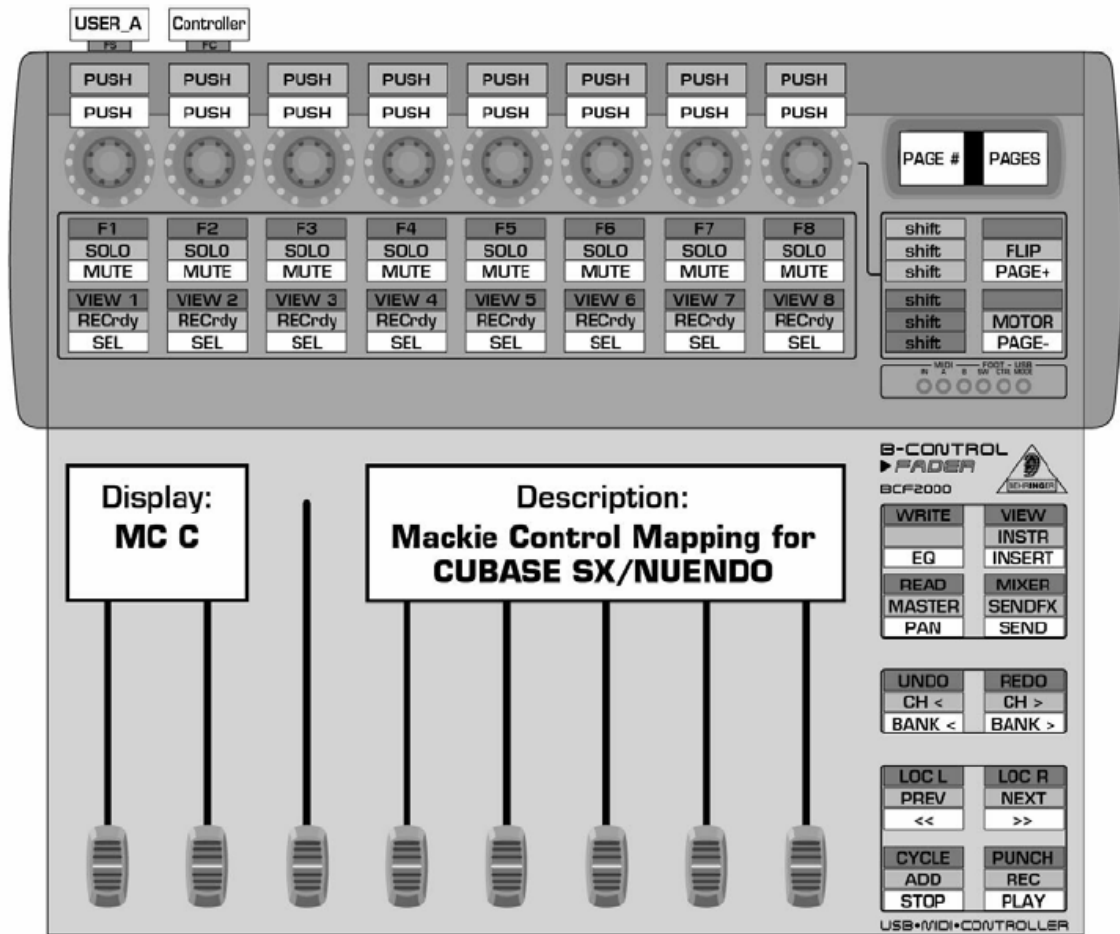


2. 電源を入れて、ディスプレイにて「EG」(EDIT GLOBAL モード)が表示されるまで待って下さい。



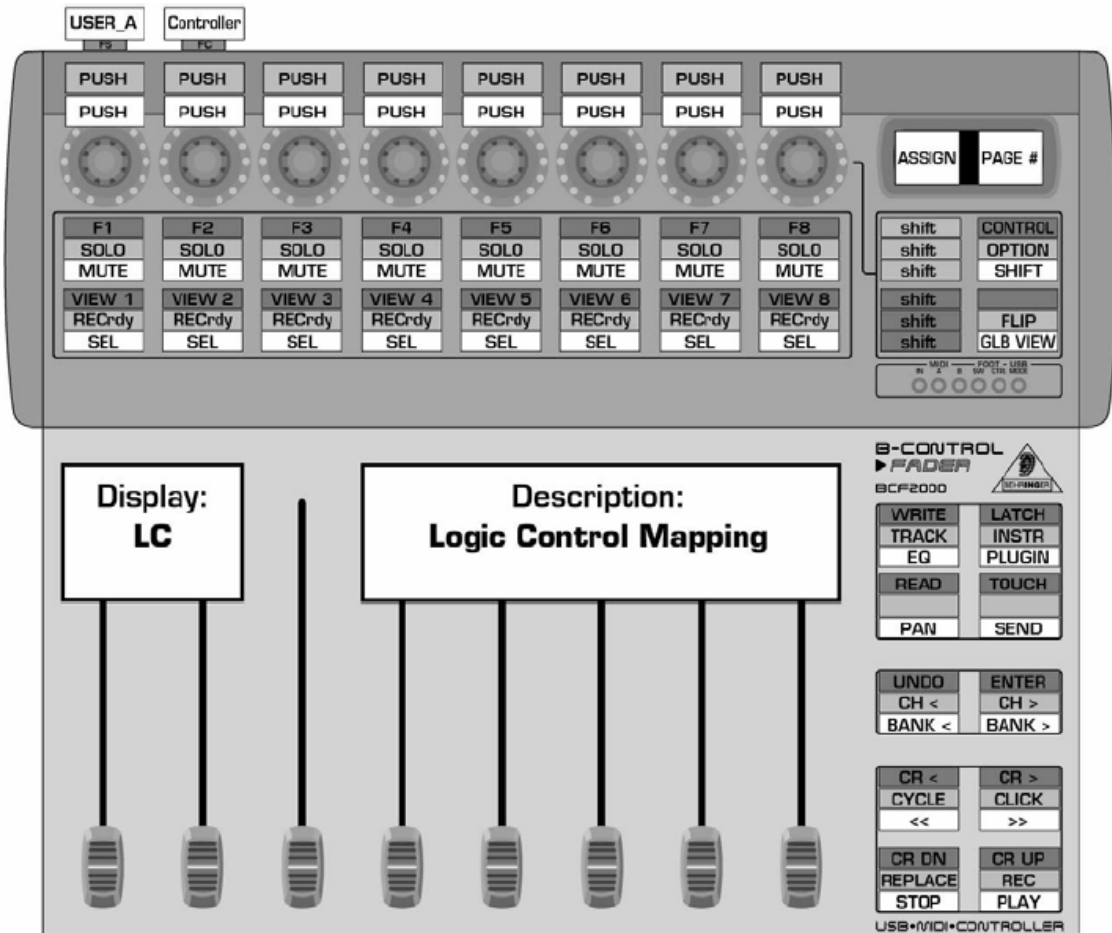
3. グローバル・セッティングの選択をプッシュ・エンコーダー 1 から 8 を使って設定して下さい。
4. 選択の設定が終わりましたら、「EXIT」ボタンを押して選択されたエミュレーション・モードに入ります。

BCF2000 用のエミュレーション・テンプレート



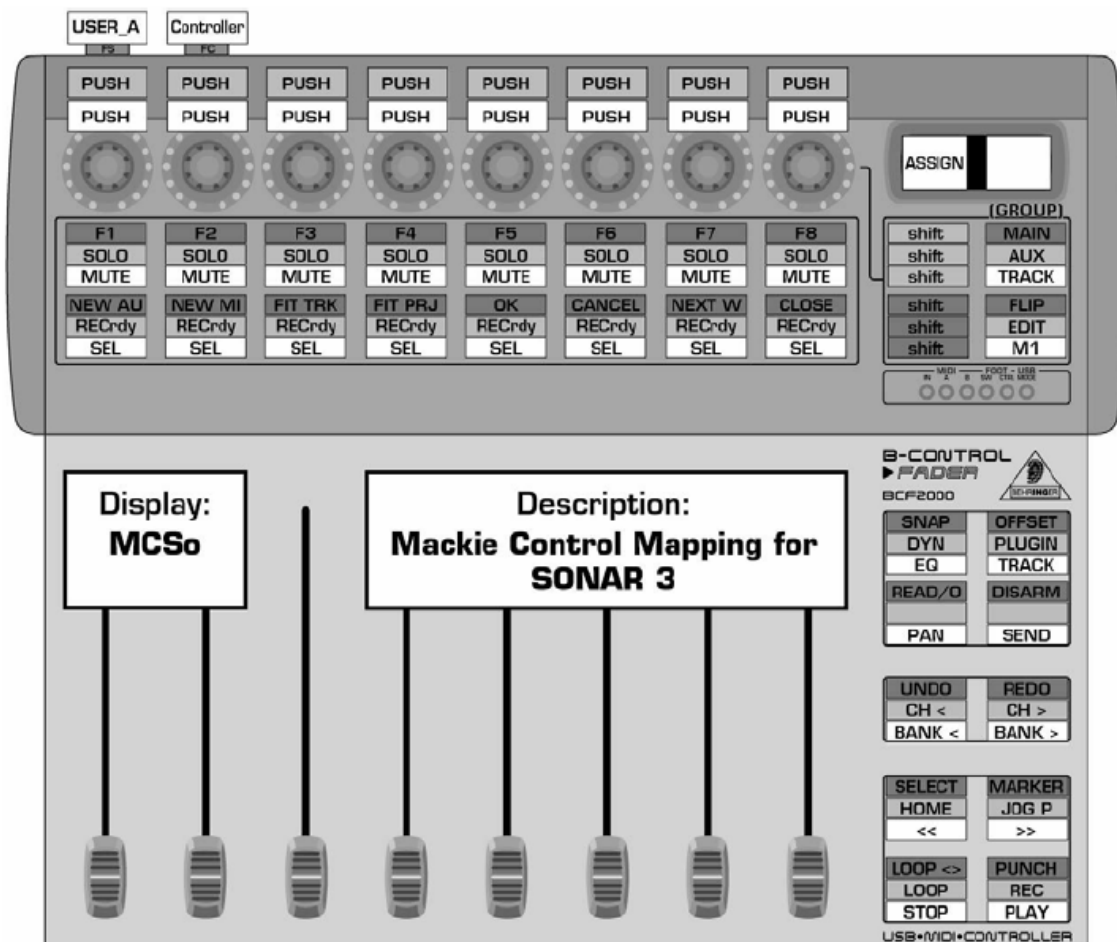
Please consider color code!

- dark grey = LOWER SHIFT function
- light grey = UPPER SHIFT function
- white = NO SHIFT function



Please consider color code!

dark grey = LOWER SHIFT function
 light grey = UPPER SHIFT function
 white = NO SHIFT function

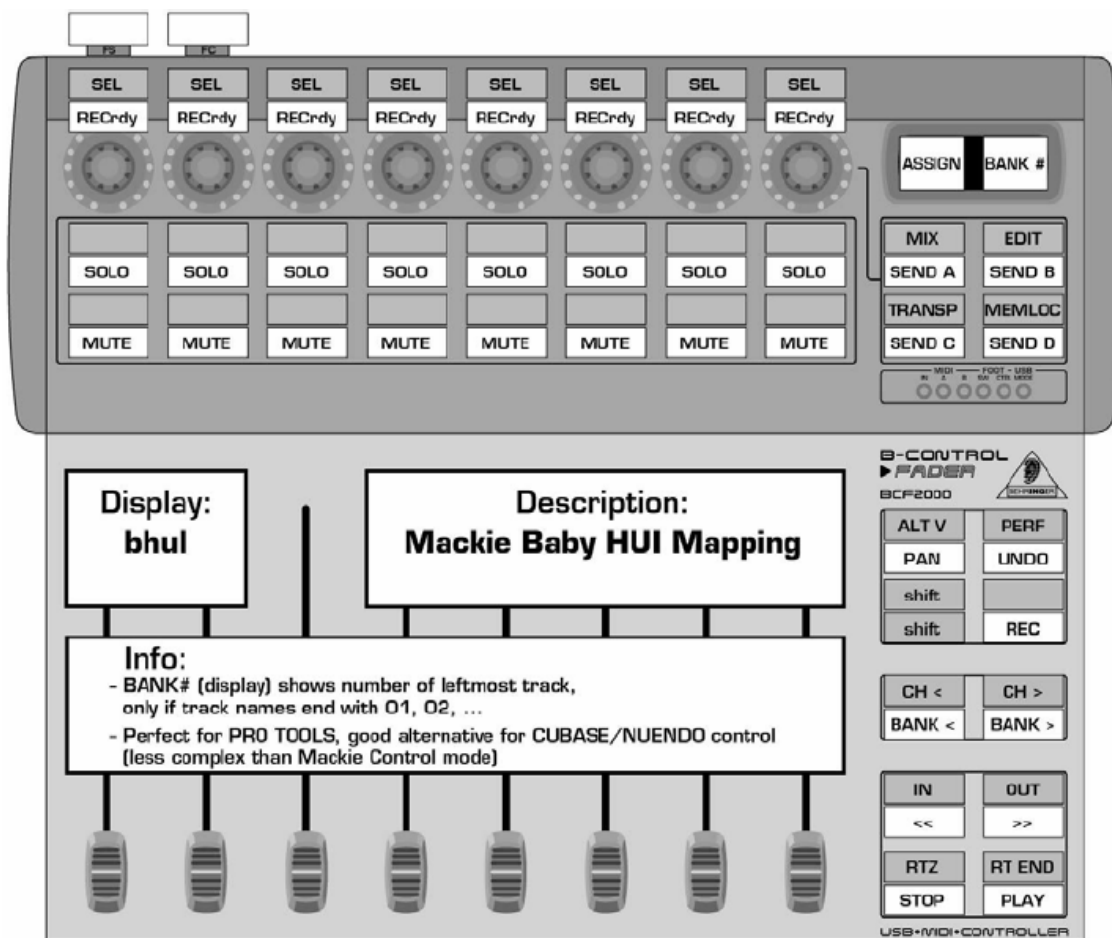


Please consider color code!

dark grey = LOWER SHIFT function
 light grey = UPPER SHIFT function
 white = NO SHIFT function

インフォメーション :

- トラック名の最後の部分が 01 や 02 で名が付けられている場合、ディスプレイは一番左のトラック番号しか表示しません。
- このエミュレーション・モードは PRO TOOLS に適しています。CUBASE/NUENDO コントロールの代わりに使えますし、MACKIE CONTROL エミュレーション・モードより使用が簡単です。



Please consider color code!

light grey = SHIFT function
white = NO SHIFT function

BCF2000 用のバーチャル・ディスプレイ

注意点：

- BCFview バーチャル・ディスプレイは BCF2000 用のソフトです。BCR2000 では使えません。
- 使用する前に BCF2000 上にて BCF-Firmware v1.06 のアップデートが必要となります。
- このソフトは Windows®(バージョン 98SE 以上)使用のパソコン上で使えるソフトです。その他の OS 上では使用不可能です。



例：Logic Control for Emagic®* Logic* Audio LC

はじめに：

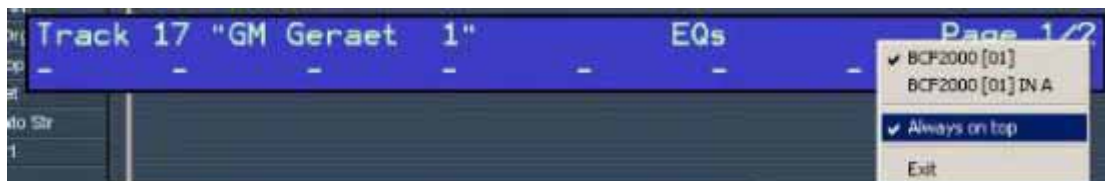
このソフトは Mackie®*/Logic*のハードウェア上のディスプレイをパソコン上にシミュレーションするソフトです。

使用を始める方法：

1. BCF2000 をパソコンに繋いでください。
2. 使いたいエミュレーション・モード・ボタンを押しながら BCF2000 の電源を付けて下さい。エミュレーション・モードは MC C, LC,か MCS0 を設定できますが、bhul は v1.06 では対応していません。
3. BCFview.exe をパソコン上で開いて下さい。(必ずミュージック・ソフトを開く前に行ってください)
4. MIDI チャンネルの設定は、BCFview にて右クリックで BCF2000 input を選んで下さい。
5. 次にミュージック・ソフトを開いて下さい

6. ミュージック・ソフト上で「MIDI remote control」のオプションの中で Mackie®*が Logic*コントロールを選んで下さい。
7. この時点で BCF2000 やミュージック・ソフト上で行うコントロールはバーチャル・ディスプレイにて表示されます。

その他の説明：



- BCFview の右クリックの機能：
 - ⇒ 右クリックにて MIDI の送込チャンネルを選べます。
 - ⇒ 「Always on top」を選びますと、BCFview が常にパソコンのモニター上で一番上に置かれます。
 - ⇒ 「Exit」を押しますと、BCFview が閉じる事ができます。
- BCFview に表示されているディスプレイは BCFview 上では変えられません。
- BCFview のディスプレイはミュージック・ソフトから送られているデータを表示します。
- Mackie® Baby HUI™*エミュレーション・モードはv1.06 では対応していません。

この説明書に使われているBCFview以外のソフトは当社のB-CONTROL には付属されておりません。WINDOWS®, MAC®, EMAGIC®, MACKIE®, DIGIDESIGN®, STEINBERG®, CAKEWALK®, HUI™, ABLETON® 図示または言及されている会社、機関、または出版物の名称、およびそれぞれのロゴも、それぞれの所有者の登録商標です。これらの使用は、BEHRINGER®による前記商標の権利を意味するものでもなく、前記商標の所有者とBEHRINGER®との友好関係を意味するものでもありません。